

来年1月4日から

市民会館の貸し部屋が

1時間単位で利用可能に

市民会館は、醤油醸造家の茂木佐平治郎として、大正13(1924)年ころ建てられました。

その後、昭和31(1956)年に、野田醤油株式会社(現キッコーマン株式会社)を経て市に寄贈され、同32(1957)年に「野田市市民会館」として開館した施設で、平成9年には、国の登録文化財にも指定されています。

また、19年からは、隣接する郷土博物館とあわせて、キャリアデザイン(自分らしい生き方

を見出し、実践すること)の拠点施設として位置付けるとともに、指定管理者制度を導入しました。

さらに、施設の一部を改修した「市民つどいの間」に、全国の博物館の図録などが閲覧できるコーナーを設置するとともに、学芸員を配置して市民の学びと交流の場としているほか、より快適に市民会館を利用していただけるよう、館内の空調やトイレの改修も行いました。

申し込みは2か月前から

市民会館の利用者が多くなる一方で、部屋の貸し出し時間は、午前中の連続3時間、午後の連続5時間、夜間の連続4時間と3つの区分のみであることから、少ない時間単位での利用を希望する声が多く寄せられています。

そこで、市では、皆さんからの要望にお応えするとともに、より多くの方にご利用いただく

■平成22年1月4日からの貸部屋料金表

部屋名	大きさ	9時～17時 1時間につき	17時～21時 1時間につき
松の間	10畳	200円	340円
竹の間・月の間 菊の間	8畳	170円	230円
梅の間	8畳	130円	170円
藤の間	10畳	100円	170円
楓の間・雪の間	6畳	100円	170円
柳の間	4畳半	60円	130円
桃の間	4畳	60円	100円
松樹庵(別棟茶室)		680円	

※市外の利用者は2倍の料金となります



館内の見学や資料の閲覧は無料です

うと、来年1月4日から、1時間単位で貸し出しできるように変更しました。

女流名人位戦の

「大盤解説会」入場者募集

野田市は、34年も続いた「家元制度」を、本場に強いものが名人となる「実力名人制」に変更するなど、現代将棋の基礎を築き上げた、将棋の十三世名人関根金次郎と、日本将棋連盟の会長も務めた、渡辺東一名誉九段のゆかりの地です。

市では、2人の功績も広く知っていたらこうと、日本将棋連盟・新聞社と共催し、平成22年1月31日(日)13時から17時(予定)まで、「いちいのホール」5階の「関根名人記念館」対局室を会

各部屋の1時間あたりの使用料は表のとおりで、予約は、利用日の2か月前から、同館に直接か電話で受け付けています。

なお、今回の変更は、各部屋の貸し出し時間と、1時間単位で貸し出すことに伴う利用料金のみで、開館時間(9時～21時)や休館日(毎週(日)、ただし、(祝)の場合は開館・年末年始)に変更はありません。

また、館内の見学や、「市民つ

どいの間」の利用は、休館日を除いて、9時から17時まで、無料で自由にできます。

同館では、市内各所の観光パンフレットなども取り揃え、ガイドボランティアの会とも連携し、館内や市内モデルコースなどのガイド事業も行っていますので、ご希望の方は事前にお問い合わせください。

【問合せ】郷土博物館・市民会館 ☎7124-6851



プロ棋士による大盤解説(2月撮影)

場として、清水市代女流名人と挑戦者による「第36期ユニバーサル杯女流名人位戦5番勝負第2局」を開催します。

そこで、女流棋士の対局を楽しんでもらおうと、当日行う大盤解説会の入場希望者を募集します。

大盤解説会は、4階の関宿コミュニティ会館・ホールで行いますが、13時からは対局の観戦(5分程度)にも参加いただけます。

希望者は、22年1月18日(必着)まで、往復はがき(1枚で1人入場可)に住所・氏名・年齢・

【問合せ】商工課